

地域の小さな声を聴く力。公明党

平成29年度区議会第2回定例会における公明党の代表質問

がんに関する 情報発信の強化

がんの早期発見につなげるため、がんに関する情報の発信を一層強化すべきだ。検診や予防、相談窓口に係る情報などをまとめたがん情報ガイドを作成せよ。

【答弁】がんに関する知識の普及啓発のツールとして検討する。

がん患者と 家族への支援強化

がん患者とその家族への支援を強化すべきだ。梅ヶ丘拠点の区複合棟の整備に当たっては、常設のがん相談窓口の設置やピアサポートの充実などに取り組め。

【答弁】窓口の常設化やピアサポートの充実も視野に準備を進める。

多文化共生社会 構築への取り組み

国際交流を通じて外国人との相互理解を深めることは、世界平和を築く礎となる。国際交流イベントの充実など、多文化共生社会構築に向けた取り組みを進めよ。

【答弁】さまざまな形の交流機会を創出し、積極的に進める。

危機管理監への 退職自衛官の配置

我々は有事への対応に精通した退職自衛官を危機管理監として配置するよう再三求めたが、進展が見えない。東京2020大会に備え、早急に常勤職員として配置せよ。

【答弁】非常勤職員としての配置に向けた検討を進めている。

管理不全な 空き家の発生の 予防

管理不全な空き家の発生の予防が急務だ。検討中の空家等対策計画に、所有者が専門家に相談できる体制の構築などを盛り込め。

【答弁】相談体制の構築など、増加抑制の方策を検討し反映する。

良好な住環境の 確保への対策強化

狭小のシェアハウスの増加が社会問題化しており、区内でも住環境の悪化が懸念される。住環境整備条例に規制を行うための基準を定めるなど対策を講じよ。

【答弁】まずは課題などを整理し、調査研究に取り組む。

不登校対策の 充実

不登校対策を充実すべきだ。整備予定の教育総合センターでの支援体制の強化に加え、不登校対策アクションプランの策定に際しては、予防や早期支援を重視せよ。

【答弁】教育総合センターの機能と整合を図りつつ策定に取り組む。

教員の働き方 改革の推進

教員の長時間勤務が慢性化しており、本来子どもとかかわるべき時間が十分確保できていない。ICTを一層活用して効率化するなど、教員の働き方改革を進めよ。

【答弁】さまざまな手法により、教員の働き方改革を推進していく。

男女共同参画に 係る条例のあり方

区は性の多様性尊重の観点を盛り込んだ男女共同参画に係る条例を制定予定だ。東京2020大会を見据え、差別のない社会実現に向けて世界に発信できる条例とせよ。

【答弁】多文化共生のまち世田谷らしい条例となるよう検討する。